

全校参観日(人権教育) ~ 11月4日(金) ~

この日の児童集会は「ふれあい集会」。4~6年生の学級代表が、人権にかかわる標語を発表してくれました。この標語は、校内にはり出されます。

係の先生からは、「**自分のよいところをたくさん見つけよう**」と話がありました。自分に自信をもてると、そのよさが一層伸び、苦手なことにも向かっていこうとする意欲がわいてきます。先生、友達、そして、家族の方から、たくさんよさを言ってもらい、改めて自分のよさに気づくことができるといいですね。

授業参観では、各学級で人権教育にかかわる授業を行いました。ご家庭でも、人権についてお子さんと話し合うよき機会としてみてください。



**心の雨 かさをさし
出し 笑顔にしたい**



1年

心にとげがささる「**ちくちくことば**」、心を温かくする「**ふわふわことば**」について、考えました。「ふわふわことば」が増えればいいですね。



2年

大男のきこりと小男のきこり「**どっちがえらい**」。紙芝居をコンピュータで加工して提示しました。その人だけのよさがあることに気づきました。



3年

友達のよいところを出し合いました。いいところを言うてもらおうと、笑顔になります。「**本当の友達とは?**」を考ました。友達は宝物ですね。



4年

「**視覚障害のある方との交流**」を通して、相手の立場になって体験することにより、その方の大変さやうれしさを感じ取ることができました。



5年

「**いじめ**」について資料から考える学級、「**男女の違い**」について話し合いをする学級。思いを語り合うことで、新しい考え方が生まれました。



6年

「**外国人**」「**友達**」「**権利・幸せ**」各学級で普段意識しないことについて、考える機会をもちました。自分を掘り下げて考えることができました。

PTA講演会 講師：滝沢 アイミー 先生
(育成会共催) 演題：『自分を信じ、明るい未来へ』



私は、7人の兄弟姉妹とマニラで育ちました。子どもが多く、母ががんばってくれました。私は、兄弟の面倒をみるのが仕事でした。高校のときに父が亡くなり、アルバイトをして大学に通いました。学歴があれば、給料もよくなります。大学3年のとき、友達に誘われ、オーディションに合格。平成4年、日本に行くこととなりました。日本に行けば、家族を楽にしてあげられるという思いで、大学を中退し、後のことは何も考えずにやってきたのです。

日本の印象は、なんて静かな国だろうということです。外国人が集まると、必ずワイワイ楽しめます。文化の違いを感じました。日本人と国際結婚をして、どうやって周りとかかわっていけばよいか苦労しました。下の子は、幼稚園で肌が黒いことでいじめられました。それを、担任の先生にどう言葉で伝えればいいのか、わかりません。「どうしてこんなことが起きるのですか。子どもは一緒じゃないですか…」幼稚園の子だから、けんかをしたり仲良くしたりして、成長していきました。小学校でも、にたようなことがありました。「差別ではないでしょうか。子どもは切ない思いで、学校に行けなくなってしまう」だんだんと慣れてきた言葉で、先生にお願いしました。子どもは敏感で、心に傷が残ります。

そんな中で、私は、「ジェスチャー・アイコンタクトを使って、明るく人と接していこう」「日本語を一生懸命覚えて、コミュニケーションをとろう」「日本の文化を覚えよう」そう思うようになりました。日本の祖父母と一緒に住んでいますが、すれ違いがありました。わかり合う努力が必要だと思い、たくさんのことを教えてもらいました。年を取っても、たくさんのことを学ぶ必要があると考えています。



今、子どもたちとふれあい、一緒に英語の学習をしています。いろいろの小学校の子どもと出会い、うれしいこと、うまくいかないことがあります。私のカギは、明るさ。明るくいれば、子どもが安心してくれると思っています。つらいこともたくさんあったけれど、「明日は明日の風が吹く」「明日の朝は必ずやってくる」と思ってきました。つらいときは、フィリピンの家族に会いたくなります。だれでも、差別をされ、差別をしています。気づかないだけです。私は自分の行動に気をつけ、相手の顔を見て、気持ちを考えながら話すようにしています。そして、プラスのことは採り入れ、マイナスのことは自分が直すようにしています。明るい屋代小の子どもたちは、私をお母さんのように思っ話しかけてくれます。自分の努力は必要でした。そして、何年もがんばって、今の私の立場があります。皆さんにも、英語の授業(外国語活動)を見てもらいたと思います。



日本に来て一番困ったことは平仮名、カタカナ、漢字…。前の上司には、「ありがとう」「はい」と言えば大丈夫と言われました。しかし、悪口を言われたとしたら、ありがとうとは言えません。言葉を知らない、それがわからないのです。敬語も大切です。いい言葉を使えるようになってほしいと思います。

ただただ日本に来たかった私でしたが、泣いてばかり。家族と離れたさみしさで、お母さんに抱きしめてもらいたかった。その中で、自分を変えなければいけないと、がんばってきました。皆さん、お子さんが大きくなるまで、たっぷりの愛情で育ててください。

授業は、できるだけ子どもたちが楽しみにできる活動をしています。今日は、うまく話ができかわかりませんが、困っている外国人がいれば、声をかけてください。そこから、コミュニケーションが始まり、心が開かれていきます。大勢の方に話を聴いてもらい、感謝です。これからも、外国人が認められるように、がんばっていきたいと思います。